

新都市における 地域包括ケアモデル事業の取組

～訪問看護ステーションモデル～

新城市の概要

(平成26年4月1日現在:外国人含む)

人 口 49,475人

(前年比 ▲649人)

高齢者数 15,072人

(高齢化率 30.46%)



新城市位置図

新城市は、愛知県の東部のほぼ中央にあります。

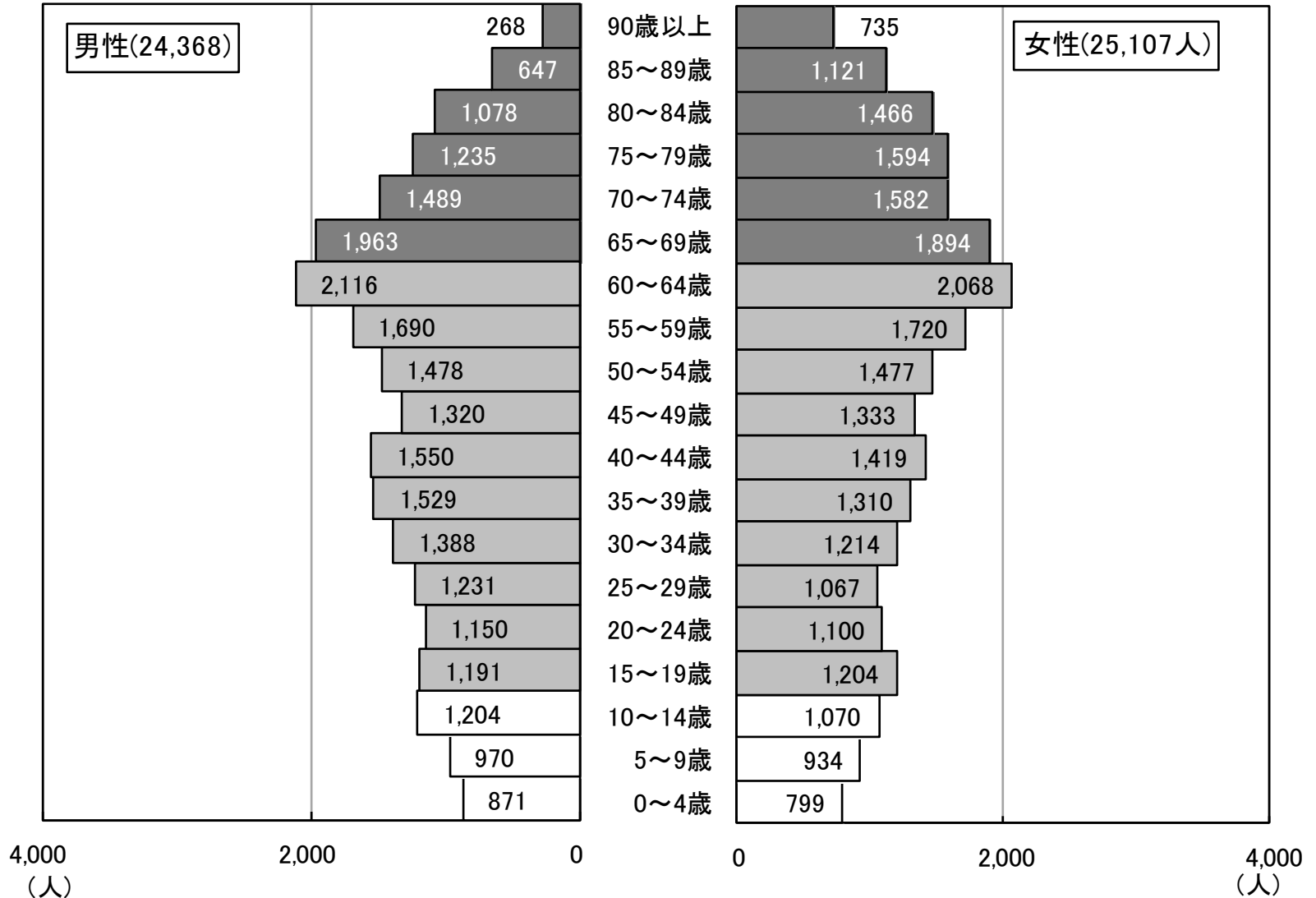
東西の長さ約30km、南北の長さ約27km、面積は499km²で、愛知県で2番目に広い市町村です。

また、歴史的に有名な長篠・設楽原の戦が行われた地です。

平成17年10月1日に新城市、鳳来町、作手村が合併し、現在の新城市が誕生しました。

新城市人口ピラミッド

(平成26年4月1日現在)



新城市の医療資源の状況

(平成26年6月1日現在)

医療機関数

病院	5か所
医科診療所	25か所
歯科診療所	23か所
調剤薬局	14か所
訪問看護ステーション	1か所 (公設)

介護事業所数

居宅介護支援事業所	15か所
訪問介護事業所	9か所
特別養護老人ホーム	2か所 (160人収容)
老人保健施設	2か所 (176人収容)
地域包括支援センター	1か所

新都市の特性と課題

○面積が広く、山間部と都市部の二面性

- ・市域の84%は、三河山間部を形成する豊かな緑に覆われた森林です。

人口が集中 市街地

面積が広い
山間地

○新都市3地区の状況 (H26.4.1現在:外国人含まず)

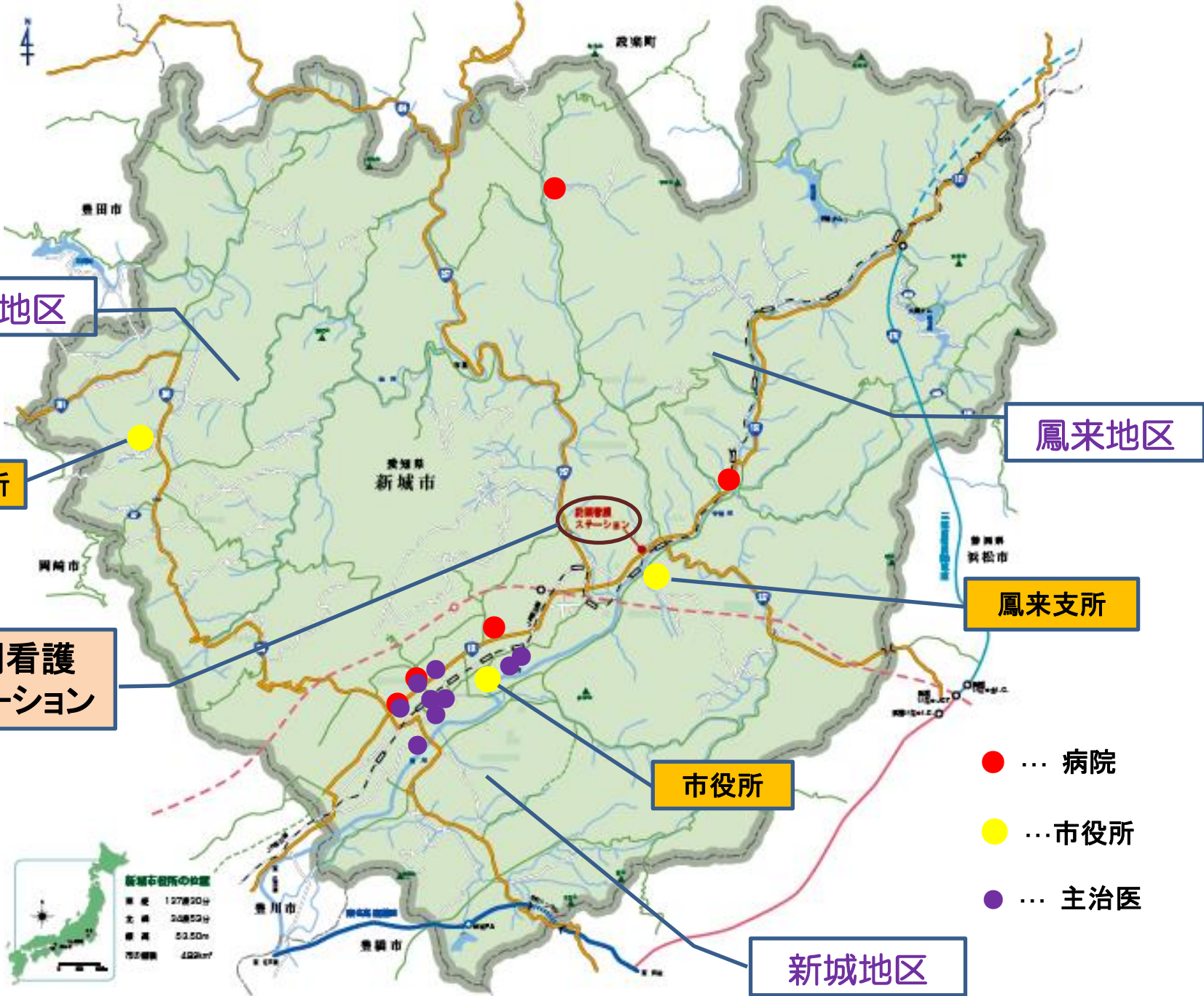
- ・新城地区 34,546人 内高齢者 9,586人 27.7%
- ・鳳来地区 11,528人 内高齢者 4,361人 37.8%
- ・作手地区 2,701人 内高齢者 1,112人 41.2%

○施設サービスの展開にも地区特性

- ・地区ごとの地理的特性
- ・高齢化の状況の違い(高齢者独居世帯・老老世帯)

高齢化率高い 高原地

※介護サービスはもちろん、移動の支援等、きめ細かなサービスの展開が求められています。



作手地区

鳳来地区

作手支所

鳳来支所

訪問看護
ステーション

市役所

新城地区

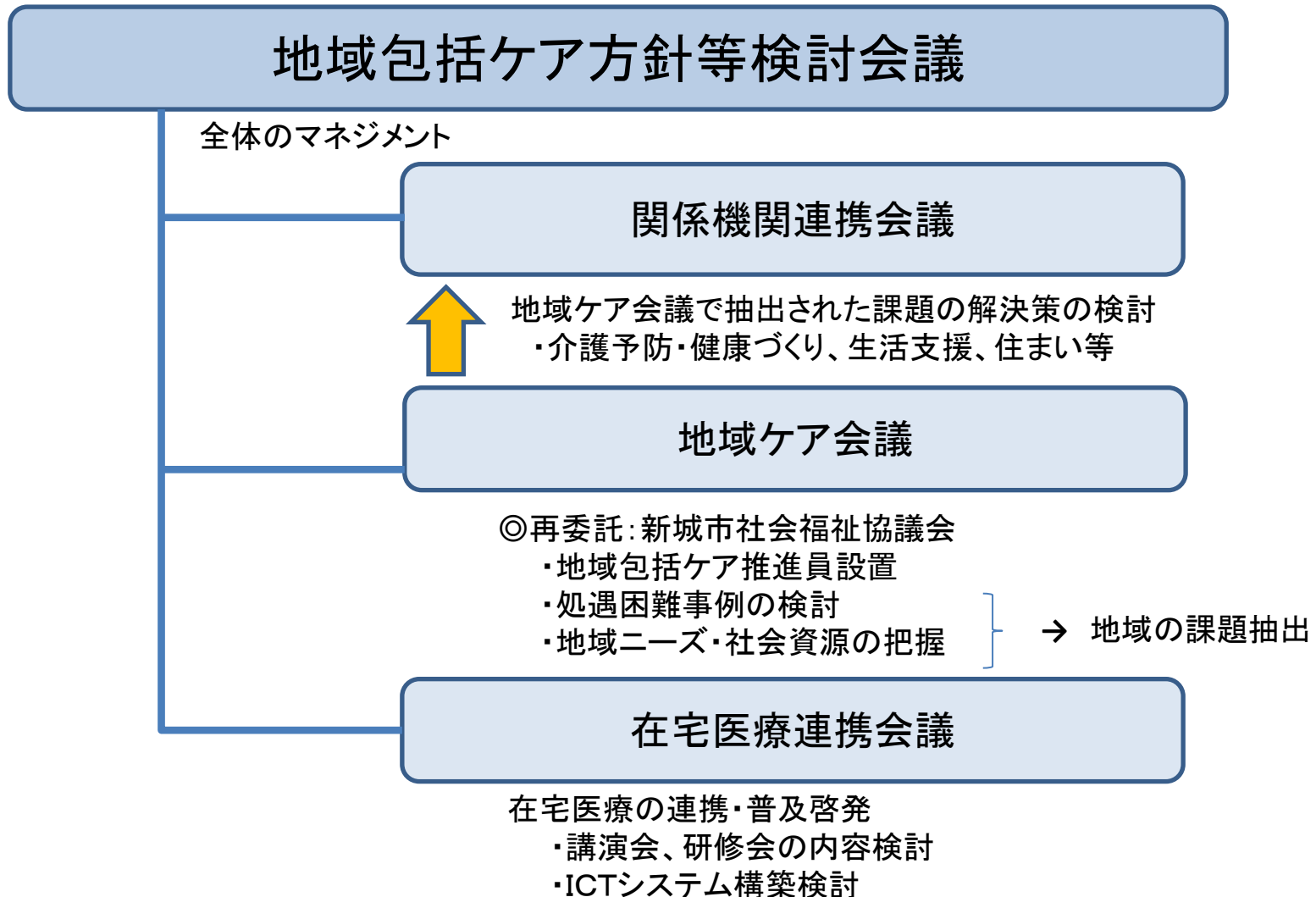
- ... 病院
- ... 市役所
- ... 主治医



新橋市役所の位置
 車道 127分30分
 国道 20分52分
 標高 53.50m
 市域面積 422km²

地域包括ケアモデル事業の取組

《多職種による会議の開催》



平成26年度の主な取組(1)

～訪問看護ステーションモデル～

1. 地域包括ケア基本方針等検討会議

地域包括ケアシステム全体のマネジメント体制の構築手順・役割分担の検討

【構成員】 医師会、地域包括支援センター、保健所、新城市

【開催回数】 年3回予定(6月、1月、3月)

【取組内容】

- ・地域包括ケアシステム構築に向けた新城市の取り組みについて
- ・中山間地での訪問看護ステーションモデルのICTシステムの構築について
- ・平成27、28年度の取組みについて

平成26年度の主な取組(2)

～訪問看護ステーションモデル～

2. 関係機関連絡会議

地域ケア会議で抽出された課題(介護予防・健康づくり・生活支援・住まい)の解決策を検討。

【構成員】 医師会、歯科医師会、薬剤師会、保健所、地域包括支援センター、新城市、新城市民病院、訪問看護ステーション、保健センター、社会福祉協議会、民生委員、自治会、介護事業者、ボランティア団体

【開催回数】 年5回予定(8月、10月、12月、2月、3月)

【取組内容】

- ・第6期高齢者保健福祉計画策定のための調査の情報収集・分析
- ・現在不足しているサービス・課題を抽出し、分析・検討
- ・低所得要支援・要介護高齢者向けの住まいの確保に必要な取り組みを検討

平成26年度の主な取組(3)

～訪問看護ステーションモデル～

3. 地域ケア会議

処遇困難事例の検討を通じ、地域のニーズや社会資源を把握し、地域課題の抽出。

【構成員】 医師会、歯科医師会、歯科衛生士会、薬剤師会、保健所、新城市、新城市民病院、訪問看護ステーション、保健センター、社会福祉協議会、民生委員、ケアマネージャー、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士、介護福祉士、福祉用具業者

【開催回数】 年5回随時予定(困難事例検討)

【取組内容】

◎地域包括ケアシステム推進員配置

- ・処遇困難事例の検討(訪問看護支援関係)
- ・地域ケア会議の質の向上(外部講師を招いての研修会、先進地視察)
- ・地域包括ケアシステム関係者の研修

平成26年度の主な取組(4)

～訪問看護ステーションモデル～

4. 在宅医療連携協議会

- ・在宅医療の連携を推進するための課題抽出及び解決策の検討。
- ・在宅医療推進のための事業の検討

【構成員】 医師会、歯科医師会、薬剤師会、保健所、地域包括支援センター、
新城市民病院、訪問看護ステーション、介護事業者、ケアマネージャー

【開催回数】 年4回予定(7月、9月、11月、2月)

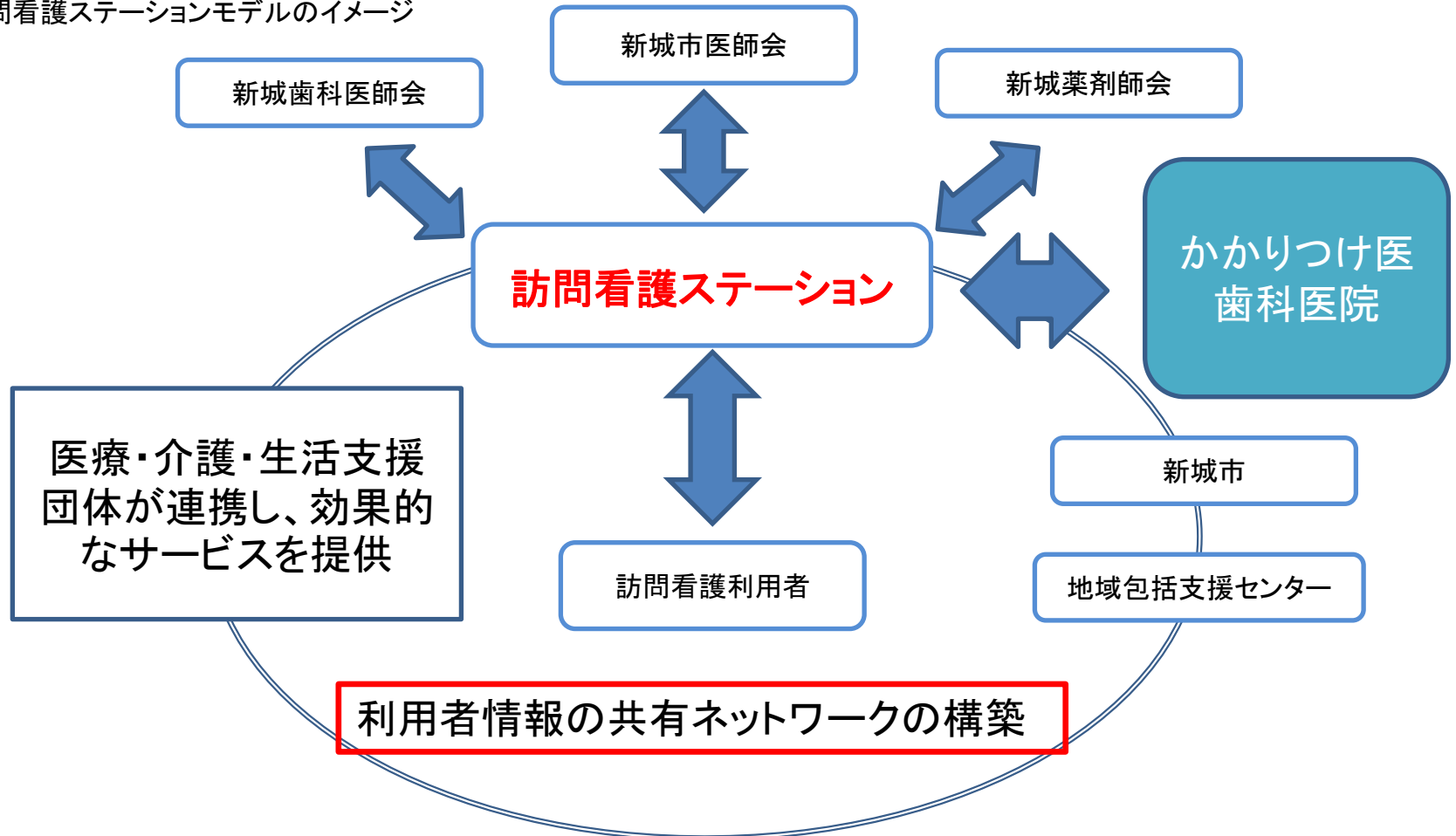
【取組内容】

- ・在宅医療・地域包括ケアシステムを普及するための講演会の開催
- ・在宅医療啓発のためのチラシの作成、全戸配布
- ・医療機関を対象としたアンケート調査実施
- ・在宅医療に従事する多職種の研修会
- ・ICTシステムの構築

訪問看護ステーションモデル

在宅医療提供が限られた地域で、医療・介護の双方に通じた訪問看護ステーションが中心となって高齢者の在宅医療を支えるとともに、医療・介護・予防・生活支援を担う関係職種が連携するシステム

訪問看護ステーションモデルのイメージ



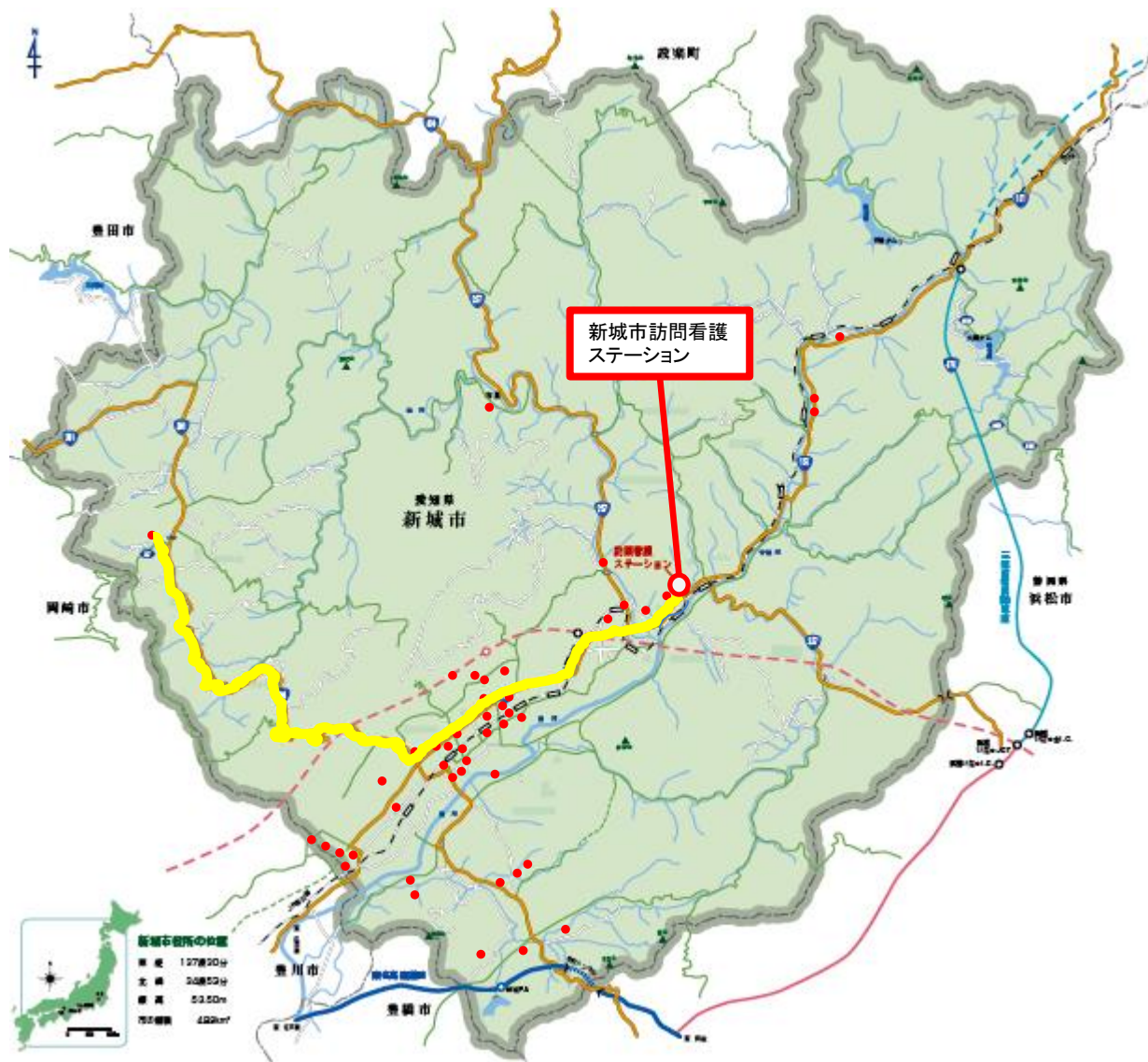
新城市訪問看護ステーション

看護師 7名
利用者 約50名

利用地域 新城市全域

最遠方利用者までの距離
往復52km

**1日の平均移動距離
約40km**



新城市
訪問看護
ステーション



鳳来保健センター内

現在の連携の問題点と課題



今年度既に実施している主な取組

1. 第1回地域包括ケア基本方針等検討会議

日時：平成26年6月17日（火）

13:30～

場所：新城文化会館

303会議室

構成員：医師会、保健所、
地域包括支援センター、
新城市職員



2. 庁内ICTシステム検討会（5回実施）

3. 庁内関係部署地域包括ケアシステム検討会 （8回実施）

3年後の姿・・・

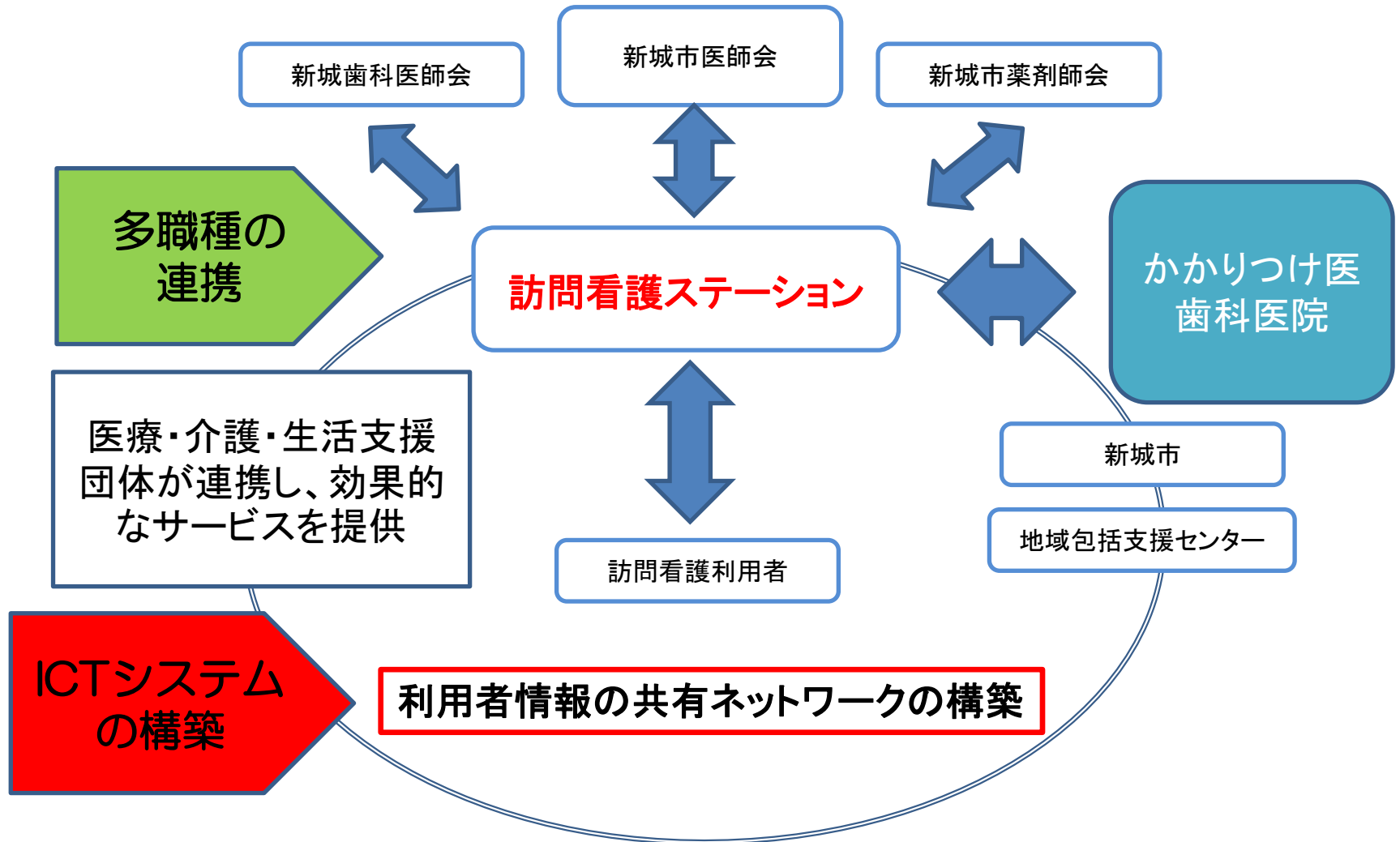
- ・市町村と医師会が連携し、訪問看護ステーションを中心として在宅療養が可能な体制がとれている。

- ・地域包括支援センターにサービス提供者の情報が集約され、困難なケースは地域ケア会議で対応が協議されている。

- ・医療関係者と介護事業者で患者情報が共有され、資源を有効に活用した医療・介護の提供がされている。

訪問看護ステーションモデル

訪問看護ステーションモデルのイメージ



電子@連絡帳を利用した情報共有

ネットワーク参加事業所

医療機関、介護事業者
ケアマネージャーなど

利用可能機器

- ・PC (Win & Mac)
- ・iOS端末
- ・Android端末

インターネット回線

ログイン

閲覧・記載

アクセス権限を付与された
利用者情報のみ閲覧・記載
が可能。
記載などの情報は全て共有
ストレージに保存。

電子@掲示板 ポータルサイト

業種間の情報共有

診断情報等の掲載

利用者情報の集約

訪問看護ステーション

アクセス権限を設定

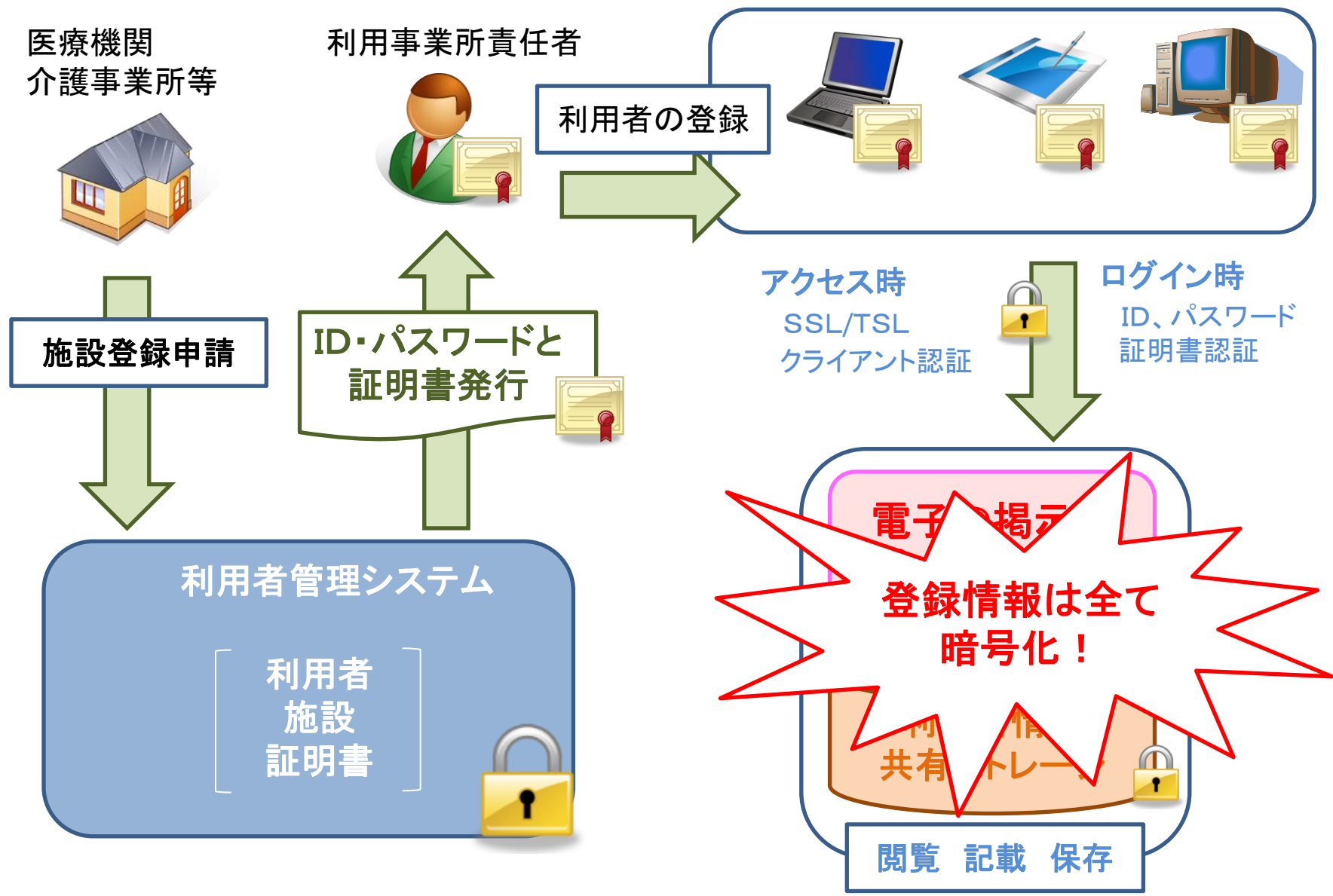
参加事業所の利用者情報へのア
クセス権限は訪問看護ステーショ
ンしんしろで設定・管理

情報共有及び管理

利用者情報
共有ストレージ

医療・福祉統合
クラウド

電子@連絡帳のセキュリティ



事業完了後の新都市の姿

超高齢化社会の到来



医療崩壊の危機！

地域包括ケアシステム体制の確立

在宅ケアの充実

訪問看護ステーションが中心となり、高齢者の在宅療養を支える在宅ケアを充実し、高齢者が住み慣れた新都市で安心して過ごせるように

ご清聴、ありがとうございました

新城市役所

市民福祉部 長寿課

電話(0536)23-7688